

ショートアニメ・シリーズ「FUTURE KID TAKARA」

第4話「食べものがピンチ！」授業づくりアイデアシート

【第4話のストーリー】

フードロスの現状を学ぶサラとシュガー。温暖化と食料問題には関係があり、将来、給食に出たコーンポタージュやおにぎり、チョコレートなど、たくさんの食べものが手に入らなくなるとタカラは告げます。

【はじめに】

21世紀を生き抜くための資質・能力を育むため、子どもたちが自ら課題を発見し、他者と協働しながら解決していく力を育てられるような学び方が注目されています。本教材は、地球温暖化に対し、子どもたちが興味・関心を持ち、自分ごととして考えることができるよう構成されています。

猛暑や雨不足によって米や野菜の収量が落ち、価格が高騰していることは、子どもたちが最も身近に感じる環境の変化の1つです。特に地球温暖化について学び始めたばかりの子どもたちにとって、好物が食べられなくなるかもしれないという切り口は、現在地球で起きていることに関心を持ちやすいテーマです。

本教材をご活用いただき、先生方と児童・生徒の“協働的な学び”で未来を一緒に考えながら、関心のあるテーマでは「個別最適な学び」として、各自の探究学習等にも繋げていただくことを願っております。

【この動画と関連がある主な学習内容・学年】

		学年・内容	関連するポイント
小学校	理科	6年：生物と環境	人の活動が自然環境にどのような影響を与えているのか、大気汚染や水質汚濁、生物多様性や森林減少などを例にして考えさせると共に、環境に及ぼす影響を減らす方法を考えます。
	社会	4年：人々の健康や生活環境を支える事業	廃棄物を処理する事業では、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう工夫して進められていることを学びます。また、4Rや食品ロスの軽減など廃棄物を減らすための方法を考えることも可能です。
		5年：我が国の農業や水産業における食料生産	我が国の食料生産（米作り、畜産、水産業など）を扱う際に、それぞれの土地や気候を生かして食料の生産地が広がっていることなどを基に、気候変動による農作物への影響や食料生産の不安定化を学び、食品ロスの問題について探究することも可能です。
	家庭科	5・6年：環境に配慮した生活	環境にできるだけ負荷を掛けないため、物を長く大切に活用したり、無駄なく使い切ったり、使い終わった物を他の用途に再利用することを考えます。
中学校	理科	第1分野：エネルギーと物質	農林水産業で活用されている科学技術を調べ、気候に左右されずに生産できる食料品を考えることも可能です。
		第2分野：自然の恵みと気象災害	住んでいる町で採れる農作物が成長するためにはどのような気象が必要か調べ、異常気象がわたしたちの食生活にどのような影響を与えるかを考えます。
	社会	地理的分野：州という地域の広がりや地域内の結び付き	耕作地の砂漠化で食糧問題が起きている地域を調査し、なぜこの地域で砂漠化が起きてしまっているのか、またなぜ諸外国の支援が必要なのかといった問いを立てることが可能です。
		公民的分野：世界平和と人類の福祉の増大	将来食べられなくなるかもしれない食物に焦点を当て、その食物の生産地ではどのような気候問題が発生しているのかを学ぶことによって、世界の気候問題を自分事化することが可能です。
その他		「道徳」や「総合的な学習の時間」で使用いただくことも可能です。 実際の給食の際に話題にして、学びを深めることも可能です。	

【本教材の授業での使い方の例】

本教材(第4話 約5分)を活用した授業の流れの一例です。

学習内容	別のアプローチ
1. 動画を見る前に 動画を見る前にワークシートで、これまでに知っていることを書き出します。	先に動画を見てから、まとめて書くことも可能です。
2. 動画を見る 動画を視聴します。	適宜、一時停止をしながら確認することも可能です。
3. 動画を見た後に 動画を見た後、再度個人での考える時間、または複数人のグループでの話し合いの時間を設けます。必要に応じて、自身の結論を導くために他の事例などをインターネットなどでの調べ学習なども行ってください。	動画を見終わって、まず素直な感想や、印象に残ったセリフについて語り合うところから始めていただくのも良いと思います。
4. 教室内で共有する 何人か、またはいくつかのグループの代表が、根拠とともに考えをまとめて発表し、教室内で共有します。	教室内で共有した後、あらためて子どもたち一人一人に自分の考えを書いてもらうやり方もあります。

※本教材を単体で使うこともできますし、他の話と組み合わせて総合学習や探究学習に使うことも可能です。

※この流れはあくまで一例です。先生方のご指導される学校の実態にあわせてご活用をお願いいたします。

【ワークシートの3問をより深めた追加の問いかけの例】

これまでの学習内容に応じて、以下のような追加の問いを立てることも可能です。

★気温の上昇が農作物の収穫量や品質に与える影響の具体例を調べてみましょう。

★フードロスをなくすために、わたしたちにできることを考えてみましょう。

(買い物の際の「手前どり」やバイキング料理の時、取りすぎないなど身近なことを考える)

★フードロスをなくすことが、地球温暖化を食い止めることにつながるのはなぜなのか、考えてみましょう。

【参考資料】

子どもたち向け			
サイト名	運営	QR	URL
地球温暖化と農林水産業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構		https://www.undp.org/ja/japan/press-releases/weather-kids-japan
気候変動適応情報プラットフォーム (A-PLAT)	国立研究開発法人 国立環境研究所		https://www.youtube.com/watch?v=DDSPobjCH3A&list=PLMXIbKG8KT1PN1EfpTyjDgl8Bimkh9GCr#
日本財団ジャーナル	公益財団法人日本財団		https://nccca.or.jp/about/kodomo3/
先生向け 環境教育関連サイト			
地球温暖化まなびBOX	全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)		https://www.jccca.org/climate-change-education/manabi-box
環境学習STATION	環境省		https://policies.env.go.jp/policy/eco/
デコ活	環境省		https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/



#4 「食べものがピンチ！」ワークシート

年 組 名前

① これまでに知っていたことをまとめてみましょう

身の回りの食べもので、熱波や豪雨による被害など地球温暖化の影響が出ているかもしれないものについて、これまでに知っていたことをまとめてみましょう。

② 映像を見て新しく知ったことから考えてみましょう

2100年には無くなっているかもしれない食べものに、どんなものがあるか調べてみましょう。

③ グループや学級みんなで考えてみましょう

温暖化をくい止め、将来もみんなで大好きな食べものが食べられる未来にするために、どんな行動をしていきたいか友だちと話し合い、考えたことをまとめてみましょう。